

通信

いわて

地域総研



お母さんと一緒にブルーベリー摘み体験(滝沢村)

連続講座「岩手の再生」②

「民主党農政の動向と岩手県農業の課題」

岩手大学人文社会科学部教授 横山 英信

(岩手地域総合研究所常任理事)

NPO法人

岩手地域総合研究所

岩手県盛岡市本町通二丁目1番36号

Tel・Fax: 019-624-6715

メール: i-chiikisouken@salsa.ocn.ne.jp

### 目次

表紙写真	お母さんと一緒にブルーベリー摘み体験	1P
写真寄稿	岩手地域総研事務局 平野 稔	2P
連続講座	岩手の再生② 農業問題 ＝民主党農政の動向と岩手県農業の展望＝ 岩手大学人文社会科学部教授 横山 英信	3P～6P
	好評「連続講座」開設中 岩手県消費者大会案内	
読者寄稿	「農業で幸せに」ということ 平泉町役場職員 菅原 克義	7P
	第12回・13回市町村議会議員研修会案内 お知らせ	8P



### 表紙写真

お母さんと一緒に

ブルーベリー摘み体験

岩手地域総研事務局 平野 稔

滝沢村分かれ付近の  
荻原武雄さん宅の家庭  
菜園では、今年もブルー  
ベリーがたくさん実を  
付けました。

7月29日、近所の  
保育園児とお母さん達  
が今年もブルーベリー  
摘み体験をしました。

毎年、このブルーベ  
リー摘みを楽しみにし  
ていた園児たちは、紫  
に熟した実をときどき  
口にはおぼりながらの  
収穫です。

ブルーベリー摘み体  
験の後は、菜園で採れ  
たスイートコーンやト  
マトでおやつ時間で  
す。お母さんとお友達  
と一緒に楽しいひとと  
きをすごしました。

# 「農業で幸せに」

## ということ



平泉町役場職員 菅原克義

仕事から農業に関わっていることから情報収集でホームページを覗いていたら、農業者支援団体のメッセージで「農業で幸せに生きていく」というフレーズがあった。これを見たとき何と心地よ

い響きだろう、特に「幸せに」の言葉にいたく感動してしまった。今「幸せ」とか「幸福」などという言葉は結婚式以外に聴いたことがない。本来ならば日常的にかわさっていいはずの言葉が聞こえてこない。

一方、最近よく使われる言葉に「安心」「安全」ということがいわれている。その背景には、児童生徒の登下校が危険だったり、高齢者が振り込み詐欺にあったり、通り魔殺人事件があつたりと、およそ10年位前には考えられなかった事件があつたとを絶たないからだ。農村でいえば農業が衰退し、地域では耕作放棄、限界集落が言われている。最近また言葉が増えて「買物難民」なるものが農村だけではなく、都市でも問題とされている。挙句に地震やゲリラ豪雨が追い討ちをかける。

いったい日本はどこに向かうとしているのか、と不安にかられてしまうことさえある。

「安心」「安全」の言葉が持てはやされている社会は、ちっとも

安心・安全な社会ではない。社会不安の背景の大部分には、経済不況や雇用不安があるといわれているが、それは国の政策が大きくかわっており、構造改革路線がそうさせてしまったことは周知の事実である。

安心・安全が当たり前の社会、その上で「幸福」が追求できる社会にしたいものだ。天変地異さえ科学の力で説明しようという現代、それは政策の転換で何とかできることであり、ヨーロッパでは

すでに実践している。

私たちも経済効率や過度な競争意識を改め、お互いの結びつきの大切さやその上に立っての社会にするためにはどうしたらいいのか、ここで今一度考えてみる必要があるような気がする。

最近また、いいフレーズを見つけた。「農村の繁栄なくして都市の繁栄はない」

どこかで似たような言葉を聞いたことがあるような気がするが、まったく同感である。

### 岩手県消費者大会

日時: 10月27日(水)

10時30分~15時まで

会場: 岩手県産業会館(サンビル)

7階ホール

内容

○午前 基調講演

「国民が安心できる社会保障を」

= 矛盾する消費税増税(仮題) =

神戸大学教授 二宮 厚美

○午後 分科会

食糧・農業 ぐらし・格差問題

税・社会保障 介護問題

平和・教育 消費者問題

**第12回 市町村議会議員研修会**

- ◎ 2010年11月4日(木)～5日(金)  
札幌コンベンションセンター(札幌市)
- ◎ 1日目 全体会 13時30分～17時  
・記念講演 駒澤大学教授 吉田敬一氏  
・現地報告 帯広市産業振興会議相談役 渡辺純夫氏
- ◎ 2日目 選科 9時20分～15時10分  
・「人口減少時代の都市計画・まちづくり」  
・「地域主権改革と一括交付金」  
・「環境保全・自然エネルギーによる仕事おこし」  
・「知っておきたい 公共事業の再生」
- ◎ 【参加費】研究所会員 23,000円、一般 25,000円  
【お弁当(2日目昼)】1,500円

**第13回 市町村議会議員研修会**

- ◎ 2010年11月12日(金)～11月13日(土)  
名古屋国際会議場(名古屋市)

東京一極集中は今も続いているが、都市を支えているのは紛れもなく地域・農村であり、その農村が衰退したのでは都市は成り立たないのである。ここでも今の都市政策を改めること、そして都市と地域が連帯することを望むものである。

今少しづつではあるが、都市の住民が農業を見直し、農業の持つ魅力、人間性の回復みたいなものを求めて農村に入ってきている。この現象を都市住民の農業への

消極的な関わりと見るのか、その評価と本気度は分かれると思うが、都市と農村をつなぐきっかけにはしたいものだ。

私は、「農業で幸せに」という言葉と「農村の繁栄なくして」というフレーズが実現できる農業・農村を目指したいと思う。

## お知らせ板

**◎ 「通信」の原稿募集について**

・県内各地の季節の便り、できごと表紙写真  
(写真紹介記事も併せて)

・発行日:12月15日

原稿締め切り:11月20日

**◎ 会費納入のお願い**

2010年度会費納入の取扱中です。

**◎ 「住民と自治」誌の取り扱いについて**

「住民と自治」誌の発送・集金は、今年、4月から、基本的に岩手地域総合研究所で取扱っております。(なお、従来どおり東京の自治体問題研究所の発送・集金を希望する方については、申し出により取扱いを継続しています。)



永井利和編著

価格税込2,000円